

交通実態調査とアンケート調査

調査結果の報告！

1 調査の目的

国道 58 号は、『港町再生基本構想』の中心となる「まちなかゾーン」を形成する中心軸であり、【“歩きたくなるお散歩”みなとまち】の検討に向けた基礎データの収集を目的に、交通実態調査とアンケート調査を実施しました。

アンケート調査には、多くの市民の方から貴重な意見が寄せられました。市民のみなさまの協力に感謝しつつ、ここに、交通実態調査とアンケート調査の結果について、ご報告いたします。

2 交通実態調査の結果

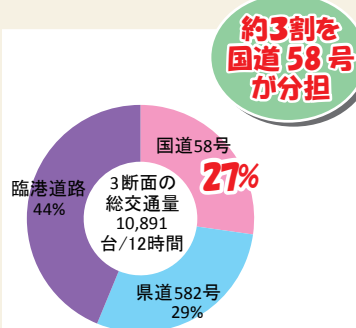
※平日の結果のみ掲載

【交通実態調査日】

令和元年 10 月 6 日（日）と 7 日（月）（2 日間）

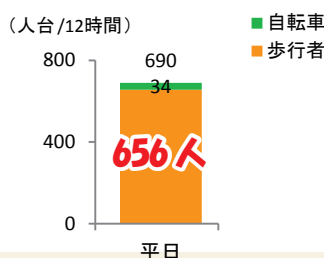
自動車交通量

- 国道 58 号の断面交通量は、2,500 ～ 3,000 台 / 12 時間
- 国道 58 号の並行路線となる県道 582 号と臨港道路を含めた断面交通量は約 10,900 台 / 12 時間で、このうち、3 割弱を国道 58 号が分担



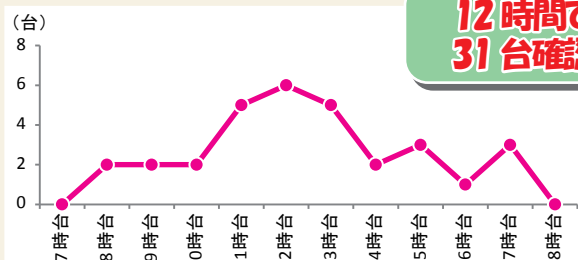
歩行者交通量

- 国道 58 号では歩行者交通量が多く、信用金庫付近における歩行者交通量は、約 650 人 / 12 時間



路上駐停車車両

- 国道 58 号の路上駐停車車両は、12 時間で 31 台を確認
- 昼間帯に多くっており、位置的には、西側よりも東側の路肩に集中している傾向



※調査は、1 時間に 1 回調査員が巡回して、路上駐停車車両の台数を観測

アンケート調査の回収状況（令和元年 11 月 15 日時点）

			配布数	回収数	回収率 (%)
地域住民アンケート			572	206	36.0
学校 アンケート調査	榕城 小学校	児童	171	96	56.1
		父兄	171	96	56.1
	種子島 中学校	生徒	259	187	72.2
		父兄	259	189	73.0
来訪者アンケート			320	34	10.6
商店アンケート			77	41	53.2



車の走行スピード

- 国道 58 号の平均旅行速度

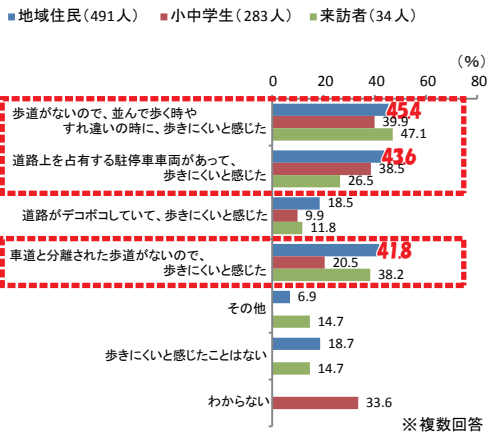
21.9 km/h

※旅行速度とは（移動）に要した時間で、信号待ちや交通渋滞による停止を含む

朝の 7・8 時台に
スピードが速い傾向

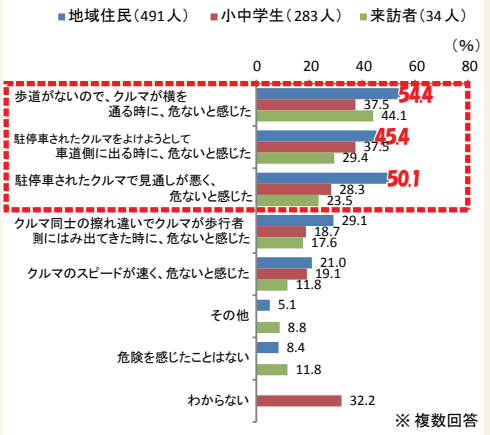
商店街を歩いた感想

- 商店街の歩きにくさでは、「歩道がないこと」、「路上駐車車両」、「車道と分離された歩道がないこと」を、歩きにくさに指摘



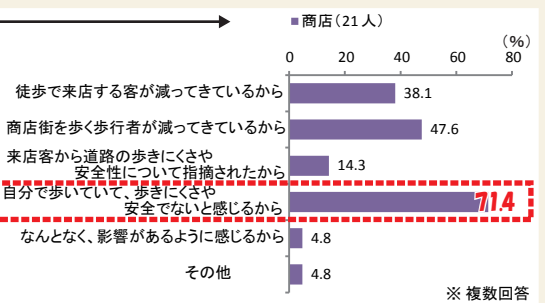
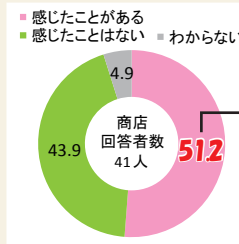
商店街を歩いて危険と感じたこと

- 商店街を歩いて危険を感じたことでは、「歩道がないこと」、「駐車車両をよける時」、さらに「駐車車両での見通しの悪さ」を指摘



歩道未整備が商業活動へ与える影響

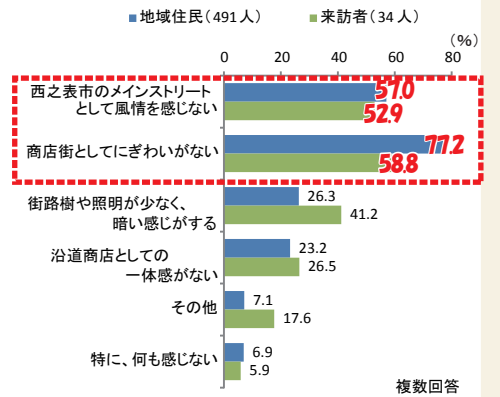
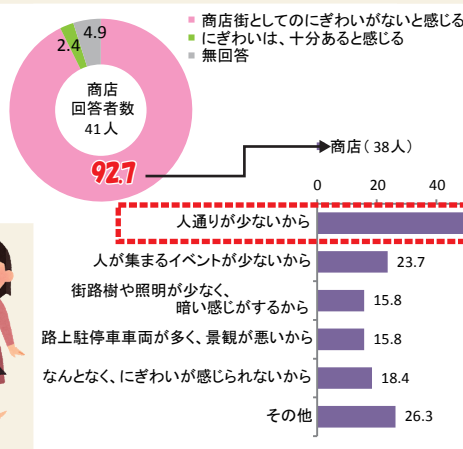
- 商業活動への影響として、歩道未整備を指摘する商店主が5割以上となり、その理由の第一位は「自身が感じる歩きにくさや安全性のなさ」を指摘



商店街の道路景観に関する思い

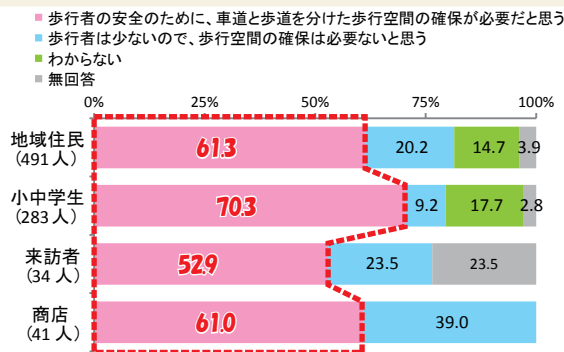
- 商店主が感じる商店街は、9割以上が「にぎわいのなさ」を指摘し、その理由の第一位は「人通りが少ない」ことを指摘

- 地域住民・来訪者では、「にぎわいのなさ」や「メインストリートとしての風情のなさ」を指摘



商店街への安全な歩行空間の必要性

- 安全な歩行空間については、来訪者の5割以上が必要性を指摘するとともに、特に、地域住民と商店は「6割以上」、小中学生は「7割以上」が安全な歩行空間が必要と指摘



道路整備に対する考え方

- 地域住民や商店の約5割が「現在の道路空間の中で歩行空間を確保する工夫が必要」と回答

